

## 特別企画展

# 「松本清張と井上靖—新進作家と目標の星」

## 開催します！

国民作家、松本清張(1909-1992)と井上靖(1907-1991)には、境遇や経歴、文学的資質などの一部に、意外な共通点が見出されます。

作家修行も文学的知古もほとんどない新進作家の清張は、ある時期まで井上靖を目標の星としていました。これも現在、あまり顧みられない事実です。

本展では、**初公開**の『井上靖宛清張書簡』(県立神奈川近代文学館所蔵)などを元に、清張がデビューし立ての頃、井上靖とどのような交際をし、井上を作家としてどのように見て、井上作品の何を目標としたかなどを紹介します。

- 開催期間 令和6年10月5日(土)～令和6年12月1日(日)  
9:30～18:00(入館は17:30まで)
- 休館日 毎週月曜日(休日の場合は翌日)  
・館内整理日(10月31日、11月28日)
- 会場 松本清張記念館 企画展示室
- 観覧料 常設展示観覧料  
(一般600円 中高生360円  
小学生240円)を含む。)
- 主催 北九州市立松本清張記念館
- 特別協力 長泉町井上靖文学館
- 展示内容 別紙のとおり



〔問い合わせ先〕

都市ブランド創造局 松本清張記念館

担当:中川、久富(係長)

電話:093-582-2761

## 別紙 展示内容

### I 松本清張と井上靖

2歳違いの誕生年や美術への造詣の深さ、共に新聞社に務め遅い出発の芥川賞作家であったことなど、松本清張と井上靖には意外なほど共通点がある。これらは清張に井上靖への親近感を覚えさせた。

#### 【展示品】

・直筆原稿(「或る『小倉日記』伝」、「骨壺の風景」、「点と線」など5点)

### II 新進作家と目標の星

新進作家の松本清張はある「あとがき」で、〈実際、私は井上靖の出現がなかったら、何を目標にして作品を書いていいかわからなかった。井上氏によって私の行く道は決定した〉と述懐している。

#### 【展示品】

・直筆原稿(「黒地の絵」) ・ほか単行本等27点

### III **初公開** 清張の井上靖宛書簡 —— 私淑とお祝い

松本清張が井上靖に宛てた書簡(県立神奈川近代文学館所蔵・8通)を展示します。**内5通は今回初公開で、必見です。**

#### 【展示品】

・直筆書簡(7通) ・ほか単行本等4点

### IV 最後の手紙 —— 長らく御無沙汰して

両国民作家はある時期を境に、それぞれの道を歩き始める。1964(昭和39)年に井上は日本芸術院会員となり、同年清張は代表作『昭和史発掘』の連載を始めている。

1990(平成2)年、清張は最後の井上靖に書簡を送った。

#### 【展示品】

・直筆書簡(1通) ・ほか直筆原稿「神々の乱心」ほか4点

#### ○特別展示

両作家が関心を寄せたガンダーラ仏を展示します。

【展示品】 ・ガンダーラ仏(松本清張蔵・5個)

#### ○名言の森コーナー

二人の国民的作家が遺した名言をパネル等で紹介します。(以下、例)

・「美しい文章より真実の文字を」(清張)

・「読書の楽しさを知ることと知らないことでは、人間の一生がまるで違ったものになる」(井上靖)

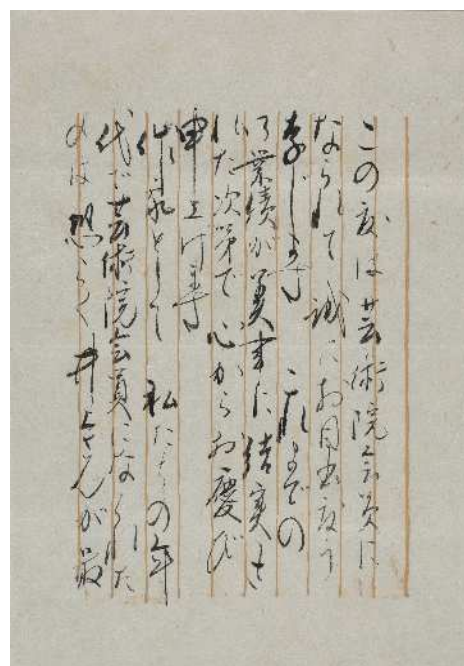
#### ○松本清張・井上靖の『名言しおり』プレゼント

二人の国民的作家が遺した名言を記した特製しおりを、ご来場者全員にプレゼントします。

#### ○特別協力・長泉町井上靖文学館の関連企画展

令和6年9月21日(土)～令和7年3月11日(火)

『井上靖と松本清張 作家の視点』展を開催



昭和38年11月30日消印 清張書簡